

ともに・・・

R7. 10. 7

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

「声も形もそろえたい・・・」～動き出す「応援」～

「今日の昼休み 12 時 50 分に、2 階の学習室に白組のみんなは集まってください」。ある日の給食時間終了間際のことです。子どもの声が放送室から流れてきました。

この日の 1 時間目に応援練習があり、この時の応援の様子について、「このままでは・・・」「もっと・・・」などの子どもたちの思いが募ったからでしょう。

このように、赤白の各応援係が、自主的に全校の団員に呼びかけ、応援の練習にがんばっています。

私はこの日、たまたま白組の様子を見に行くことができました。時刻になると、次々と白組の子どもたちが学習室に集まってきました。一列に並んだ団員の前に、応援係の 3 人が立ち、まずは、「いけいけコール」という応援の練習からです。団員たちが振付を確実に覚えていないことから、先に 3 人が歌声に合わせて、振りをやってみせます。そして、最後の決めポーズの振付について、団長が「右手をつき出して、右手を前に出してください」と伝えています。



「みんなでやってみましょう」との団長の呼びかけで、白組全員で「いけいけコール」をやってみました。団員たちも応援係の振りに合わせて一生懸命手足を動かし、団員の動きも揃ってきつつあります。



運動会には、応援は欠かせません。今年の応援は、応援係が新たに考えたオリジナルの振付もあるそうで、団員が全ての振付を覚え、一致団結したすばらしい応援になるよう、休み時間も惜しまず、自主的に練習しているようです。

本番では、赤白それぞれに気持ちをひとつにしたすばらしい応援を見せてくれるにちがいありません。

赤組も休み時間に応援練習を頑張っています



地域文化(盆踊り)を絶やさずに・・・

本校の運動会には、地域の方と一緒に踊る盆踊りのプログラムがあります。この盆踊りでは、子どもたちが“六調子”の太鼓と口説きを行ってきているようです。

9月29日(月)の昼休み、地域の西さんが、子どもたちに太鼓と口説きを教えに来校くださいました。

太鼓を叩く子どもたちは、まずは、太鼓の楽譜を見ながら、「カカカ カトントン・・・」と、西さんと一緒にリズムを歌います。

さらに、西さんが太鼓を叩く姿も見て、ばちの動かし方も学びます。

そして、テーブルから流れる口説きに合わせ、子どもたちがいよいよ太鼓を叩き始めました。

私も机を軽く叩きながら挑戦してみましたが、右手・左手と叩く手が決まっており、また、太鼓も同じ場所を打ち続けられないので、なかなか正しく叩けません。

しかし、子どもたちの様子を見ると、ほとんどの子がテーブルに合わせて叩くことができ、すごいなあと感じます。子どもに尋ねると、これまで盆踊りの太鼓を経験してきた



いるとのこと。リズムとばちの動かし方が、体に染みついていくようです。

一方、口説く子には、教頭先生も加わり、一緒に歌って音程の確認をしています。難しい旋律も何のその。上手に歌っています。

最近では、いろいろな地域で、盆踊りを実施する地区が少なくなっているようです。そのような中、北杵築っ子は、昔から続いている盆踊りの文化を絶やさず、継承してきています。頼もしい限りです。

